（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	クオリティ・オブ・ライフりーふぷらす支援教室			
○保護者評価実施期間	令和8年6月1日	～	令和8年6月30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	34	（回答者数）	23
○従業者評価実施期間	令和8年6月1日	～	令和8年6月30日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年8月24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験5年以上の職員が多数在籍しており、支援経験が豊富である。	お子様の発達や支援について、経験に基づいて見通しを立てたり、保護者様にアドバイスするようにしている。	経験だけではなく最新の情報を常にアップデートし、また保護者様のニーズを把握して支援に生かしていきたい。
2	毎月のカリキュラム表をもとに支援プログラムを明確にしている。	偏った支援にならないよう、5領域に沿った内容のカリキュラムを通していろんな活動を提供できるよう心掛けている。	カリキュラムの内容を曜日固定で2か月ごとにローテーションするようにしているが、希望のカリキュラムがずぐに受けれないこともあるため柔軟に曜日変更の受け入れを検討する。また支援者がカリキュラムを提供するだけでなく、お子様同士のつながりや、お子様が主体的に参加できるような活動を増やしていきたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様やきょうだい児への支援	近年お仕事などの都合で保護者会に参加できない保護者様が増えているため、オンラインでも参加しやすい環境づくりについて考える。 きょうだいへの支援についてニーズが把握できていない。	どのような交流がしたいかのニーズ把握。 保護者様同士が直接交流できるのが望ましいが、一部オンライン参加など検討。 きょうだい児支援についてもニーズを把握する。
2	非常時の対応への情報提供不足	利用契約時に非常災害対策についてご案内はしているが、継続してお知らせができていない。	通信やＳＮＳなどを利用して、非常災害対策や避難訓練の様子を継続してお伝えしていく必要がある。
3	外部連携全般（連携先、地域等）	自事業所のみで完結してしまっている取り組みが多い。	セルフプランの方が多いので、お困りごとやニーズに対してのヒヤリングを継続して行っていく。 外出支援を通して買い物支援や地域祭りを見学することはあるが、機会が少ないので今後増やしていけるよう計画していく。